

長寿医療制度に関する アンケート調査報告書

平成20年12月

山形県後期高齢者医療広域連合

はじめに

少子高齢社会の進展に伴い増大する高齢者の医療費を国民が皆で支える制度として、本年4月から新たに長寿医療制度（後期高齢者医療制度）がスタートしましたが、「制度周知が不十分だ」「通知の内容がわからない」など、様々なお問い合わせやご意見をいただきました。

広域連合といたしましては、市町村と連携して、円滑な制度運営に努めてきたものの、周知広報も含め十分でなかったところもあったと認識しており、長寿医療制度やその運営について、被保険者にどのように受け止められているのかを把握するため、今回、広報活動に関すること、保険証に関すること、保険料納付に関することに質問を絞って、アンケート調査を実施いたしました。

調査結果には、一定の方向性を示唆するものもあり、今後、貴重なデータとして活用していきたいと考えております。

調査にご協力いただきました方々に心よりお礼申し上げますとともに、広域連合として、この結果を真摯に受け止め、より良い制度運営に努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

山形県後期高齢者医療広域連合
事務局長 佐藤吉幸

I. 調査の概要

1. 調査の目的

長寿医療制度がスタートしてから、様々なご意見が多数寄せられている。円滑な制度運営を図るためには、被保険者の意見を踏まえることが大切であることから、被保険者を対象にアンケート調査を行うことにより実情を把握し、もって今後の適正かつ円滑な制度運営に資することを目的とする。

2. 調査の概要

(1) 調査対象者

山形県後期高齢者医療広域連合の被保険者

(2) 調査方法

対象者へアンケート用紙及び長寿医療制度パンフレットを郵送配布し、返信用封筒にて郵送回収を行う。

(3) 主な調査事項

- ① 広報活動に関する事項
- ② 保険証に関する事項
- ③ 保険料納付に関する事項

(4) 対象者抽出及び有効回収数（率）

市町村ごとに、被保険者の4%を無作為に抽出した。

- 対象者数 5, 292人
- 有効回収数 2, 842人（53.7%）

(5) 調査実施期間

平成20年11月6日（木）～11月18日（火）

II. 調査結果

1. 回答された方の状況

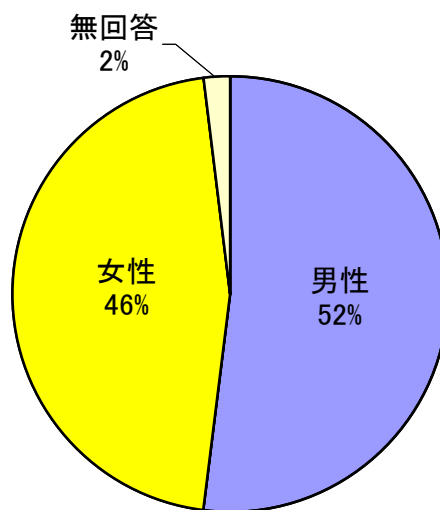
①回答された方のお住まいの市町村

市町村名	回答	構成比
山形市	558	19.6%
米沢市	189	6.7%
鶴岡市	319	11.2%
酒田市	274	9.6%
新庄市	95	3.3%
寒河江市	106	3.7%
上山市	90	3.2%
村山市	87	3.1%
長井市	67	2.4%
天童市	122	4.3%
東根市	104	3.7%
尾花沢市	54	1.9%
南陽市	85	3.0%
山辺町	34	1.2%
中山町	30	1.1%
河北町	58	2.0%
西川町	25	0.9%
朝日町	32	1.1%

市町村名	回答	構成比
大江町	29	1.0%
大石田町	26	0.9%
金山町	14	0.5%
最上町	23	0.8%
舟形町	15	0.5%
真室川町	28	1.0%
大蔵村	7	0.2%
鮭川村	15	0.5%
戸沢村	14	0.5%
高畠町	45	1.6%
川西町	54	1.9%
小国町	21	0.7%
白鷹町	51	1.8%
飯豊町	22	0.8%
三川町	24	0.8%
庄内町	77	2.7%
遊佐町	48	1.7%
合計	2,842	100.0%

②性別

	回答数	構成比
男性	1,479	52.0%
女性	1,309	46.0%
無回答	54	2.0%
合計	2,842	100.0%



2. 広報活動について

①長寿医療制度を知った主な広報媒体（複数回答）

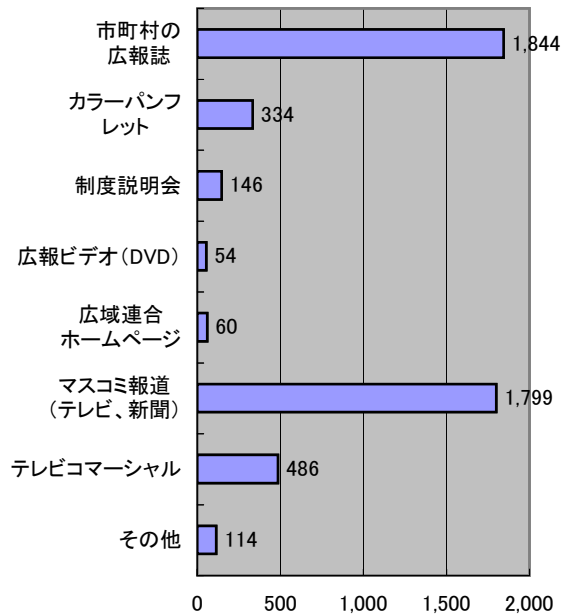
○制度を知った主な広報媒体を尋ねると、「市町村の広報誌」(64.9%)が最も多く、それと同程度に「マスコミ報道」(63.3%)があり、その他の広報活動については低い割合となった。

○「市町村の広報誌」は、被保険者及び住民の方に対して、制度を周知広報する媒体として最も効果的であることが確認できた。

○「マスコミ報道」も、住民の制度に対する認知度の向上に大きく寄与していることが確認できた。

○パンフレットやテレビCMは、広報媒体として一定の効果がみられたものの、DVDやホームページは、思ったほど浸透しなかったものと受けとれる。

	回答数	構成比
市町村の広報誌	1,844	64.9%
カラーパンフレット	334	11.8%
制度説明会	146	5.1%
広報ビデオ(DVD)	54	1.9%
広域連合ホームページ	60	2.1%
マスコミ報道(テレビ、新聞)	1,799	63.3%
テレビコマーシャル	486	17.1%
その他	114	4.0%

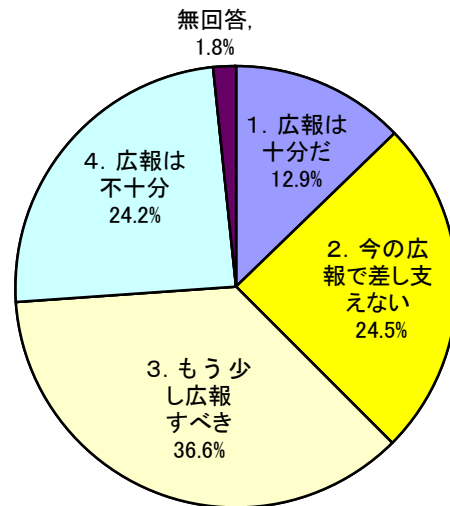


②制度広報が十分かどうか。

○周知広報不足とされた中で、「広報が十分かどうか」を尋ねると、「十分」(12.9%)、「差し支えない」(24.5%)で、これまでの広報を評価する割合は、4割程度(37.4%)だった。

○一方、広報が不十分とする「もう少し必要」(36.6%)、「不十分」(24.2%)とを合わせると、6割(60.8%)に達した。高齢者の目線で行われ、理解できるものであったかなど、さらに実施手法の検討が必要と受けとれる。

	回答数	構成比
1. 広報は十分だ	366	12.9%
2. 今の広報で差し支えない	695	24.5%
3. もう少し広報すべき	1,040	36.6%
4. 広報は不十分	688	24.2%
無回答	53	1.8%



②で3, 4とお答えの方に対する質問

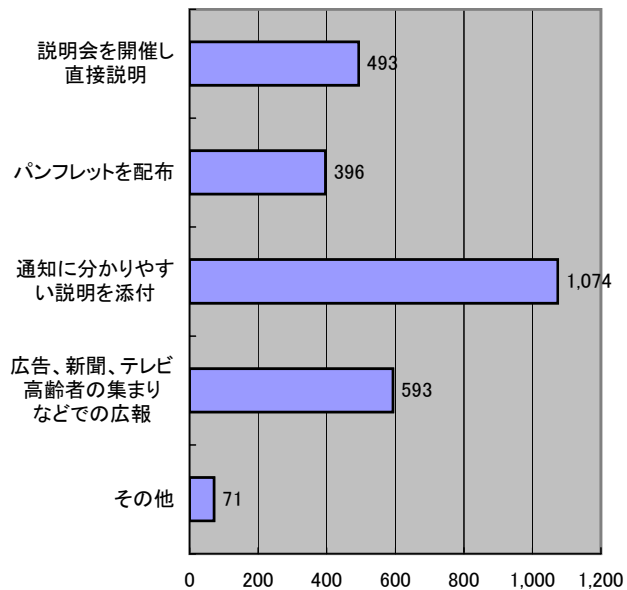
③どのような広報が必要か。(複数回答)

○広報が不十分と回答された方に、「どのような広報が足りないか」尋ねると、「通知にわかりやすい説明を添付する」(62.2%)が最も多かった。

○被保険者に送付する通知の文字が小さかったり、専門用語が使用されたことが要因として考えられ、高齢者に対する文書として、より分かりやすくする配慮が求められているものと受けとれる。

○その他の方法として、「新聞、テレビなど様々な広報」(34.3%)、「説明会」(28.5%)、「パンフレット」(22.9%)が続き、各種媒体や手法を織り交ぜた、多角的な広報活動が求められているものと受けとれる。

	回答数	構成比
説明会を開催し 直接説明	493	28.5%
パンフレットを配布	396	22.9%
通知に分かりやすい 説明を添付	1,074	62.2%
広告、新聞、テレビ 高齢者の集まり などでの広報	593	34.3%
その他	71	4.1%



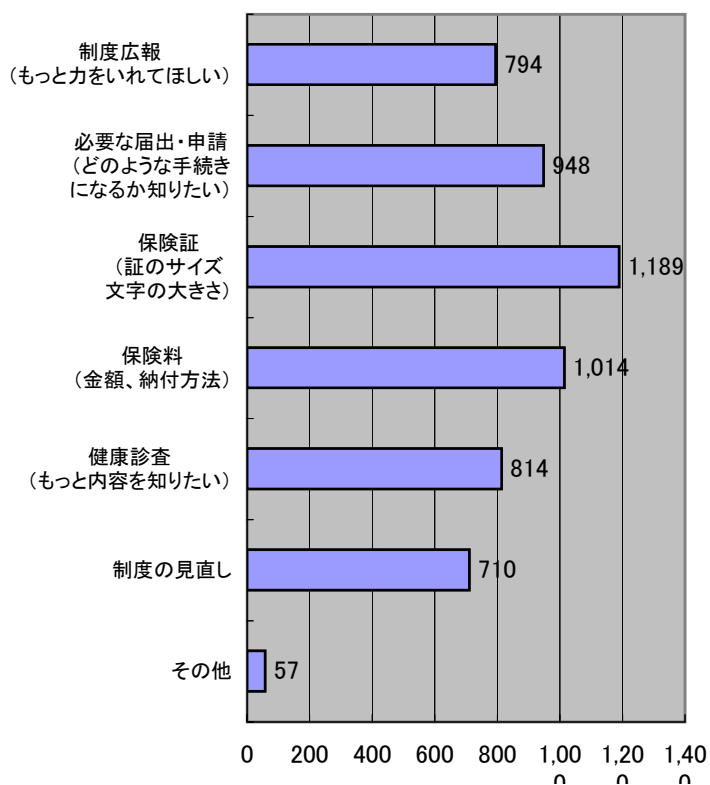
④特に関心のあること。（複数回答）

○「制度の特に関心のあること」を尋ねると、回答は分かれたものの、すべての項目で25%以上あり、制度に対する関心の高さが窺われる。

○「保険証(サイズ、字の大きさ)」(41.8%)が最も高く、「保険料」(35.7%)、「届出、申請」(33.4%)と続いている。

○「保険証」については、「字が小さい」という意見をいただいていること、また、「保険料」については、保険料の計算方法などに関する問い合わせを多くいただいていることが背景にあるものと受けとれる。

	回答数	構成比
制度広報 (もっと力をいれてほしい)	794	27.9%
必要な届出・申請 (どのような手続きになるか知りたい)	948	33.4%
保険証 (証のサイズ 文字の大きさ)	1,189	41.8%
保険料 (金額、納付方法)	1,014	35.7%
健康診査 (もっと内容を知りたい)	814	28.6%
制度の見直し	710	25.0%
その他	57	2.0%



3. 保険証に関すること

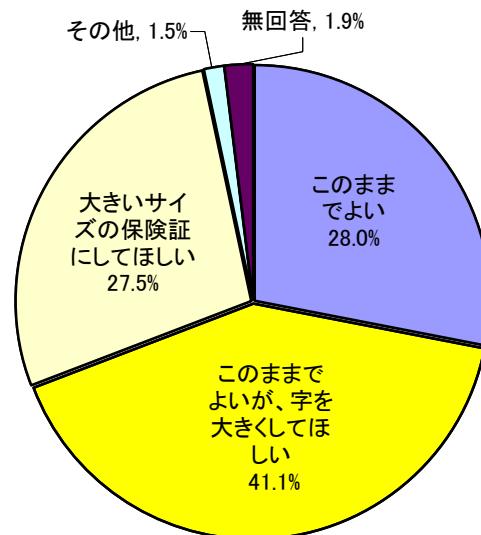
①保険証のサイズ

○カードサイズの保険証についてどう思うか尋ねると、「このままでよいが字を大きくしてほしい」(41.1%)が最も多く、「このままでよい」(28.0%)と併せると、カードサイズでよいとする方が7割程度(69.1%)になった。

○長寿医療制度に加入前の医療保険では、カードサイズの保険証を使用していた方も7～8割と多かったことを考えると、カードサイズが浸透しているものと受けとれる。

○一方では、他の証(低所得者の負担を緩和する証で「限度額適用・標準負担額減額認定証」)は大きいサイズのものもあり、保険証がカードサイズだとそれぞれサイズが違って持ちにくいという意見もあった。

	回答数	構成比
このままでよい	796	28.0%
このままでよいが、字を大きくしてほしい	1,168	41.1%
大きいサイズの保険証にしてほしい	782	27.5%
その他	43	1.5%
無回答	53	1.9%

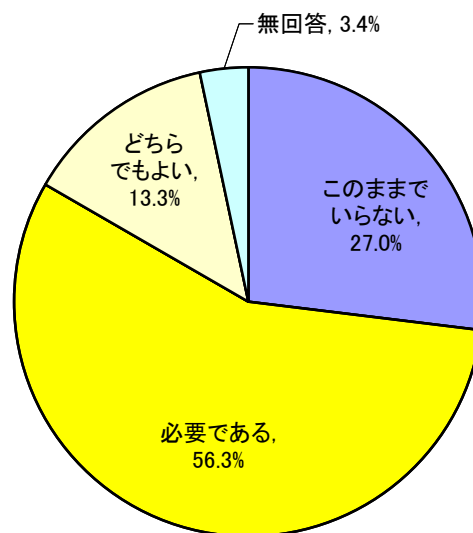


②保険証にケースが必要かどうか。

○長寿医療制度の保険証は、紙に印刷しただけのもので、表面が擦れると字が見えなくなることもあり、保護するケースが必要か尋ねると、「必要」(56.3%)という意見が6割近くになった。

○ケースの必要性については、「このままでいい」(27.0%)と比較すれば、必要性が高いと考えている方が多いものと受けとれる。

	回答数	構成比
このままでいい	767	27.0%
必要である	1,601	56.3%
どちらでもいい	380	13.3%
無回答	94	3.4%



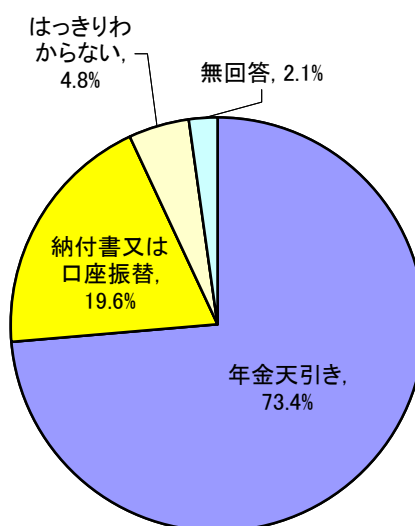
4. 保険料の納付方法に関すること

①あなたの保険料納付方法

○保険料納付方法を尋ねると、現在の納付方法を認識している方が大多数(93.0%)であり、「わからない」(4.8%)は少なかった。

○現在の納付方法としては、「年金天引き」が約7割(73.4%)で、「納付書、口座振替」は約2割(19.6%)だった。

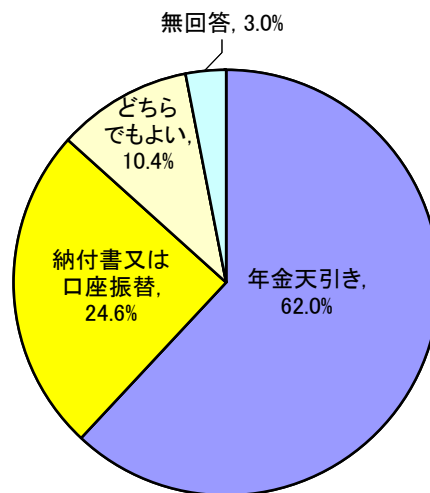
	回答数	構成比
年金天引き	2,086	73.4%
納付書又は 口座振替	558	19.6%
はっきりわからない	137	4.8%
無回答	61	2.1%



②希望する納付方法

- 希望する保険料納付方法を尋ねると、「年金天引き」(62.0%)が最も多く、「納付書、口座振替」は24.6%だった。
- 年金天引は、「どちらでもよい」(10.4%)を含めると、7割を超える(72.4%)方には是認されているものと受けとれる。
- なお、納付方法については、希望すれば、年金天引きから口座振替に変更できるよう見直されている。

	回答数	構成比
年金天引き	1,762	62.0%
納付書又は 口座振替	698	24.6%
どちら でもよい	295	10.4%
無回答	87	3.0%



(アンケート結果より)

―― 現在の納付方法を、「希望する納付方法」とする方が約8割 ――

【参考】

現在の納付方法		どの納付方法がよいか	
1. 年金天引き	2,086件	年金天引き	1,639件(78.6%)
		納付書又は口座振替	230件(11.0%)
		どちらでもよい	181件(8.7%)
		記入なし	36件(1.7%)
2. 納付書又は 口座振替	558件	年金天引き	73件(13.1%)
		納付書又は口座振替	425件(76.2%)
		どちらでもよい	51件(9.1%)
		記入なし	9件(1.6%)
3. わからない	137件	年金天引き	37件(27.0%)
		納付書又は口座振替	33件(24.1%)
		どちらでもよい	59件(43.1%)
		記入なし	8件(5.8%)
4. 記入なし	61件	年金天引き	13件(21.3%)
		納付書又は口座振替	10件(16.4%)
		どちらでもよい	4件(6.6%)
		記入なし	34件(55.7%)
合計	2,842件		

問3 長寿医療制度に対する関心についてお聴きします。この制度について特に関心のあることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○をつけて下さい。) ☆3つ以内で

- 1 制度広報 (もっと力を入れてほしい)
- 2 必要な届出・申請 (どのような手続きになるか知りたい)
- 3 保険証 (証のサイズ、文字の大きさ)
- 4 保険料 (金額、納付方法)
- 5 健康診査 (もっと内容を知りたい)
- 6 制度の見直し
- 7 その他 (具体的に _____)

問4 この制度の保険証についてお聴きします。現在保険証の大きさは、キャッシュカードの大きさになっています。これは国民健康保険と同じものを用意したのですが、この大きさの保険証についてどうお考えですか。

(いずれか1つに○をつけてください)

- 1 財布に収まる大きさなので、このままでよい。(約5cm×8cm)
- 2 サイズはこのままでいいが、字をもっと大きくしてほしい。
- 3 大きいサイズの保険証にしてほしい。(例えば)これまでの老人医療証や減額認定証のような大きさ(約13cm×10cm)
- 4 その他 (具体的に _____)

保険証は紙の材質となっていますが、保護するケースが必要だとお考えですか。

(いずれか1つに○をつけてください)

- 1 このままでいい
- 2 必要である
- 3 どちらでもよい

問5 長寿医療制度での保険料納付についてお聴きします。保険料の納め方は、年金天引きと、金融機関に納める2通りの方法があります。あなたは、現在、保険料をどのような方法で納めていますか。

(いずれか1つに○をつけてください)

- 1 年金天引き
- 2 納付書又は口座振替
- 3 はっきりわからない

保険料の納め方については、どの方法がよいとお考えですか。

(いずれか1つに○をつけてください)

- 1 年金天引き
- 2 納付書又は口座振替
- 3 どちらでもよい。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。